

取 扱 説 明 書

はじめに

この度は、当社製のフロートスイッチALシリーズをご採用頂きまして誠に有難うございます。

この製品の標準品に付いては在庫品で、お客様のお求めに対して即日出荷出来る体制をとって居ります。

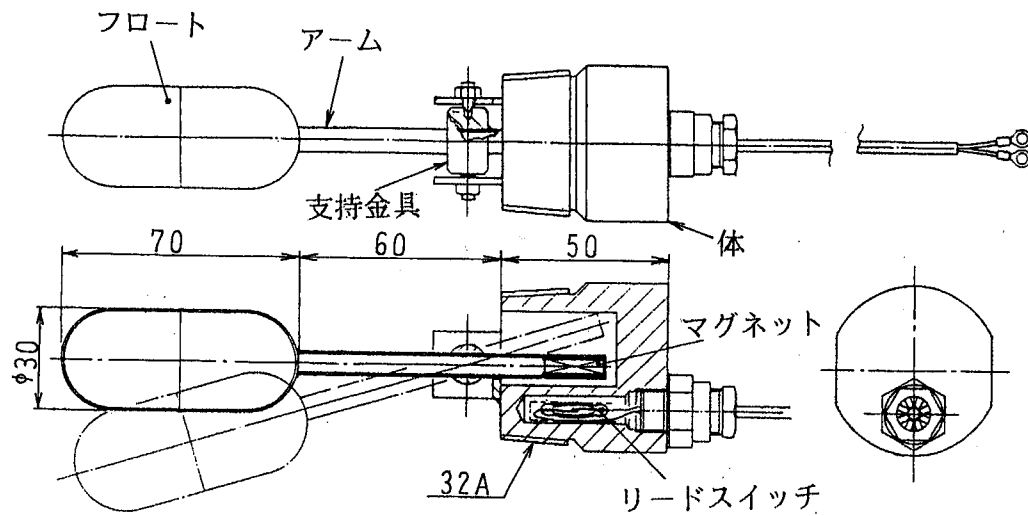
但し、ケーブルの長さの御指定とか、フロート形状の変更、ねじ込み口径の御指定などにより10日～30日程度の納期を頂戴する場合があります。徹底した品質管理のもとで製作していますので性能については高い評価を頂いています。

取り扱いを間違えますと故障につながりますので据え付け前には是非御一読下さい。

- 1、無電圧の接点出力を提供するものです。
呉々も負荷なしでの印加電圧には注意して下さい。
『接点の損焼につながります』
- 2、下限用（液面下降時にON）又は上限用（液面上昇時にON）
かの用途は決まっていますか！
- 3、表示銘版に注意してねじ込み施工の際、間違えないようにして下さい。
- 4、このスイッチは、槽の側壁に溶接された32A (RC $1\frac{1}{4}$ B) ソケット
にねじ込み使用します。
ソケットの口径とか、取付け位置は万全ですか！

1) 動作原理

SUS製（標準SUS-304）体に、リードスイッチ（永久磁石にて感知）を埋め込み、フロート軸の末端に装着した磁石によりリードスイッチ接点の開閉を提供するものです。



2) 電気定格

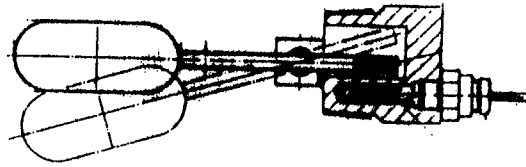
接点容量	50VA
最大DC接点容量	10W
最大DC使用電圧	200V
最大DC使用電流	0.5A

3) スイッチ取付けに付いて

上限用、下限用の区別

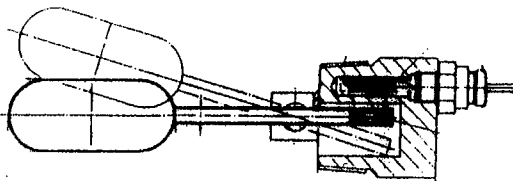
上限用に用いる場合

フロートが浮き上がってONにする場合



下限用に用いる場合

フロートが下降してONにする場合



タンクサイドに溶接する32Aソケットの位置は、スイッチの入る位置（フロートが平行なる位置）と理解して下さい。
 実際は取付位置より約5mm早くスイッチが入りますが、リードスイッチのヒステリシスの範囲と御了承下さい。

4) リードスイッチの特徴と考慮したい事

動作に於いてほとんど摺動部がないため材料疲労が少なく、機械的寿命はほぼ無限大と云えます。

特に直流電源で、L負荷（マグネットリレー等）の場合は、動作時に接点間にアークが発生します。

当社のリードスイッチは、真空式を用いていますのでアークによる接点の酸化は考えられませんが、ノイズの発生源となる訳でアークは極力取った方が良いでしょう。

アーク消去回路の代表的なものを下記に示します。

<p>直流又は交流 (Xのインピーダンス が大きい時交流の場合 効果なし)</p>	<p>直流又は交流に 通ずる。</p>	<p>直流に有効である。</p>	<p>交流に有効である。</p>
		<p>ダイオード</p>	<p>バリスタ</p>

5) 保守、点検

年に一度、定期点検の実施をお勧めします。
 なお、配線を外してフロートスイッチを抜き出し点検を行うにあたり、次の項目を点検して下さい。

- ・外観に製品の機能を損なうような破損など、異常はないか。
- ・フロートやステムに付着物がないか。必要あれば洗浄を行なう。
- ・端子にテスターや電子ブザーなどを接続し、フロートを動かして動作チェックを行なう。

6) 故障の際の処置方

故障の内容	主な原因	処置方法
液体の上下動に合わせて	結線ミス	結線のやり直し
フロートは動いているが	スイッチ位置不良	スイッチ設定位置変更 当社にご相談下さい
接点が開閉していない	スイッチの破損	当社にご相談下さい
液体の上下動に合わせて	付着物の影響	清掃する
フロートが動かない	フロート内に液侵入	フロート交換
	液比重が小さい	センサー仕様変更